



9月8日(火)

## それぞれの責任

聖書朗読 ピリピ 2 : 11~13

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 Iヨハネ1 : 9

私の息子が足首に氷をあててトランポリンの上に横たわっていた時、息子は「お父さんに叱られるから、お母さん病院に連れて行ってくれる？」と頼みました。19歳の息子はトランポリンの使い方に関して決めたルールに明らかに違反し、バク転をした結果、右の足首をらせん骨折してしまったのです。彼はもう未成年ではなかったので(訳注:アメリカの成人年齢は州にもよるが主に18歳)、息子と私はある意味それぞれ責任を負いました。彼はルールを無視して怪我をして、親である私に病院に連れて行ってくれるよう頼み、そして彼は医者からの指示に従って自分のための承諾書にサインしました。私は彼を車に乗せて病院に連れて行き、ER(救急救命室)に運び、保険の負担金を払って真夜中まで待っていました。

私たちと神様の関係と似ていませんか。私たちが神様に不従順である時、私たちは自分の誤った行動で自分自身を傷つけ、神様に向き直って癒しを求めるのです。そして、神様は癒して下さいます。

今日の聖書朗読箇所によると、私たちが神様が差し出して下さった救いに応答することにより、神様の救いが成就すると述べられています。つまり、「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」(Iヨハネ1 : 9) 神様は誠実なお方です。さあ、神様に罪を告白するならば、赦して下さい、しみのない真っ白な者にして下さるという確信と希望を持って自分を元気づけ、歩いていきましょう。

讃美歌 269

祈り 親愛なるお父様、私たちの内にあなたが働いてくださって、それによって私たちをあなたの子どもとしてくださることに感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

グレン・オース  
オレゴン州 ポートランド

9月9日(水)

## 十字架を誇る

聖書朗読 Iコリント1 : 20~25

しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。 ガラテヤ6 : 14

十字架を前に置くことは、私たちにとって何でもない簡単なことです。それは多くの教会の建物に十字架が掲げられていることや、ネックレスやピンで身につける小さな十字架に現れます。私たちの時代において、十字架は一般的にキリスト教に対する個人的な信仰の、目に見える基本的なしるしです。

しかし、一世紀のクリスチャンにとってはそうではありませんでした。彼らにとっては、十字架は単に罪を犯したもののへの処刑のしるしでしかありませんでした。礼拝の場所を十字架で飾ったり十字架を身につけたりすることは、今日の死刑執行人の象徴——皮下注射器を使うことに似ているでしょう(訳注:アメリカでは死刑に薬物注射が用いられる)。なんと醜く、痛ましいことでしょうか! 十字架以上に神様の弱さを暗示できるものがあるのでしょうか? そのために、一世紀のクリスチャンは、ギリシャ語の名前がイエス様の人格を表す頭文字となっている魚のしるしや——時には羊を抱える若い男性の絵を使いました。

そうすると、パウロにとって十字架を誇ることは注目に値することでした。それは「神の力、神の知恵なのです。なぜなら……神の弱さは人よりも強いからです。」(Iコリント1 : 24~25) これは矛盾です。神様のうわべの弱さは私たちの罪への勝利であり、私たちは神様の打ち傷によって癒されるのです。(Iペテロ2 : 24)

讃美歌 136

祈り イエス・キリストの御名によって、「この身とたまを、とこしえまでわが主のものとなさせたまえ」。アーメン。

スティーブン・S・レムリー  
共同編集者

9月10日(木)

## 傍に近づく

聖書朗読 創世記45:1~15

いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。私は主に申し上げよう。「わが避け所、わがとりで、私の信頼するわが神。」と。 詩篇91:1~2

もしあなたが私の母のオフィスの入り口に歩み入ったとしたら、母は事務仕事の紙が積み上げられている所からすぐにこちらに目を向け、明るい目で笑って「入っていらっしやい！」と言うでしょう。彼女の孫やひ孫たちも、その声に宿る温かみで愛情溢れる、「あなたよりも重要なものなど存在しない」と感じさせる声を真似することができます。

ヨセフは家族に関する知らせを得るまでに何年間も待ち続けました。そしてその時彼は、エジプトの宰相である彼に食べ物乞うために、11人の兄弟たちが帽子を手を持って自分のオフィスに入ってくるのを見ました。しかし彼らはそれがヨセフであることに気づきませんでした。

それはヨセフにとって、自分を売り払ったことに対する仕返しへのチャンスでした。しかし仕返しはしませんでした。ヨセフは彼らに優しく、自分が何者であるかを話し、自分が彼らに手を差し伸べ、近くの家を与えたいと思っていることを告げました。彼らは驚きのあまり黙ってしまいました。

ヨセフはご自身を傷つけた者たちを赦し、祝福を与えたイエス様と同じように行動したと多くの人が言います。彼は恵みを与えたのです。

神様は私たちを愛しておられます。神様は「傍に近づいてきてくれ。わたしはあなたの名前を知っている。わたしはあなたのために沢山のものを用意しているのだ」と言ってください。御傍に行きましょう！

讃美歌 Oh Happy Day ハッピー・デイ

祈り 主よ、私たちは今まで自分たちがしてきたことに関係なく、あなたの広げられた御腕を見るために目を上げます。今、あなたの元に行きます。

イエス様の御名により。アーメン。

エミリー・Y・レムリー  
共同編集者

9月11日(金)

## それはただのゲームだ！

聖書朗読 創世記3

あなたがたの会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。 Iコリント10:13

私が観たあるビデオにはコーヒーテーブルの上のコップ一杯の水に手を伸ばすよちよち歩きの子供が映っていました。母親が「ダメよ！」と叫びました。赤ん坊は手を引っ込めて母親を見ました。数秒後に、子供は再び手を伸ばしました。母親は「だめよ」と繰り返しました。すると赤ん坊は少しの間母親の方に向き直りましたが、その後コップに手を伸ばしました。このやりとりはそれが小さい男の子にとってのゲームになるまで続きました。最後には、子供はただ腕と頭を振り、コップをとろうというしぐさを母親にして、面白がりました。子供には、コップに手を伸ばし、それを取るによって、コップの中の水がこぼれるという概念は全くありませんでした。

神様が完璧な世界を造られた後、サタンは人間を神様の言葉から引き離そうと誘惑し始めました。アダムとイブはサタンの誘いに乗ってしまいました。彼らは神様に従わないことが自分たちの人生にとってどういうことを意味するのか、完全には分かっていなかったのです。

私たちはそれと同じように、誘惑に向かって手を伸ばします。最初に、私たちは神様の言葉に耳を傾けますが、しかし時間がたつにつれて、私たちは次第に注意を払わなくなり、それをただのゲームにしてしまいます。もし私たちがコップに手をおいてしまったら、人生に大いに困ったことを引き起こしてしまいます。

神様の恵みは教え、警告してくれますが、私たちは無関心と反抗のうちに神様を無視してしまいます。神様は私たちに今日も、憐れみと恵みをもって手を伸ばしてください。

讃美歌 II 4 1

祈り 親愛なる主よ、私を誘惑に導くのではなく、悪から連れ出してください。イエス様の御名により。アーメン。

シャーロット・マイズ  
テキサス州 ラボック

9月12日(土)

## 解放する水

聖書朗読 創世記6：13～22

信仰によって、ノアは、まだ見ていない事らについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相続する者となりました。ヘブル11：7

裁きと贖いは、聖書の中で繰り返されてきたテーマです。ノアと神様との関係性は、その両方を見せてくれます。神様の裁きはねじれた世界を破壊しました。しかし同時に、神様が科学的で創造的な『箱舟の建築家』であったがゆえに、恵みと信仰と従順を通して、ノア一家は箱舟の中に匿われました。

神様はノアに「あなたは自分のために、ゴフェルの木の箱舟を造りなさい」と言われました。それは一家総出のプロジェクトとなりました。ノアはそれを他人任せにはしませんでした。多様な材料を集めるための長い時間を経て、ノアの仕事は目に見える契約となりました。何度かノアをくじけさせたり、重荷となったりしました。それは、最終的には彼と神様の関係を深めました。ノアの箱舟造りはノア自身を形作ることとなったのです！

ノアの家族は今から起こる洪水を見たことがないにもかかわらず、信仰によって生き、彼らは帆や舵輪すらもない箱舟の大工となり船員となりました。創造主が、この浮かぶ農場と動物園の舵の役割を果たしました。神様はノアに、木材の防水のために内と外を木のやにで塗らせました。それゆえに、虹が消え去ったあとも、乗り上げた箱舟はアララト山において神様とノアの契約を思い起こすかの如くに何十年も存在していたかもしれません。ノアの子孫にとって、それはなんと素晴らしい忘れられない物となったのでしょうか。不信者たちにとっては全てが終焉となった洪水ですが、ノア一家にとってはそれが始まりとなったのですから。

讃美歌 260

祈り 親愛なる造り主よ、時に自分が試されることを通じて、自分にとって最大の契約が語られるのだということを、私が感謝することができるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ライネット・カーナハン・グレイ  
テネシー州 ロックフォード

9月13日(日)

## 全ては家族の中に

聖書朗読 創世記45：1～8

そこで、ヨセフは人をやって、父ヤコブと七十五人の全親族を呼び寄せました。使徒7：14

嫉妬から、ヨセフの兄弟たちは彼を奴隷に売りました。彼らは父ヤコブに嘘をつき、彼らの弟が野生の獣に殺されたのだと思い込ませました。この自己中心的な兄弟たちがほとんど気づいていなかったのは、何をしても神様の目的と計画を失敗させることはできないということでした。

ファラオの家におけるヨセフの高潔な指揮は権威を高める機会を生み出しました。何十年もたって、彼の兄弟たちは飢えにより、謙遜に頭を下げながら、食べ物求めてエジプトにやってきました。そして彼らを受け入れ彼らが何を手に入れられるか決めるのは誰でしょうか？ 彼らの兄弟ヨセフです。

彼らが前に立ったとき、ヨセフは「どうか私に近寄ってください。」と言いました(創世記45：4)。彼の家族である兄弟たちは、彼が「私はあなたたちの兄弟です。」と告げたとき、ショックを受けました。これは復讐のときなのか？ 彼は代わりに憐れみを与え、長く生き別れた父、ヤコブと再会させてくれるよう頼みました。

神様は嫉妬深い兄弟たちの悪だくみを究極の善に用いたのです。

讃美歌 405

祈り 父なる神様、私たちは血を分けた家族を与えてくださったことを、霊的な家族と同じように感謝し、大事にします。主よ、あなたを愛しています。イエス様の御名により。アーメン。

スティーブン・クラーク・ゴード  
カリフォルニア州 ブライス